

星槎の歌

～Star Raft(ほしのいかだ)～

作詞／宮澤保夫・星槎の歌制定委員会
作曲／さいとう聖子

集う我等の学び舎は 友と育む源の
星の槎に心と真 明日に光と勇気を求める

ああ星槎 我が星槎
強く生きるその想い

共に星に学び人を知り めぐる未来に希望の天空
進む道には星の槎 心に溢れる新たな力

ああ星槎 我が星槎
強く生きるその想い

ああ星槎 我等が星槎
強く生きるその想い



オンラインからの 参加方法

エントリー

準備や当日の様子を
HP・各SNSより
ご確認いただけます



アーカイブ配信も
check!



公式Facebook



公式Instagram

Q SAAB 星槎

<https://seisasaab.com>

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGs未来都市・横浜



SEISA Africa Asia Bridge

2025

国内最大級の
「多様性を包摂」する
学びの祭典

EXPLORE THE OTHER SIDE
EXHIBIT THE OTHER SIDE

11.15 SAT

10:00 ▶ 16:00

開催場所

星槎高等学校 横浜市旭区若葉台4-35-1
045-442-8686 (代表)

星槎グループHP <https://www.seisagroup.jp/>



星槎が掲げる「共生社会の実現」
そのヒントがSAAB2025にあります。

アフリカそしてアジアは世界の中でも、最も変化の大きな地域として注目をされており、人々が持つ多様性にもまた、共生への大きなヒントが隠されています。人類の歴史・伝統・文化…。まだまだ知らないアフリカ、アジアを知り、お互いを認め合い、そしてつながる「懸け橋」に、我々はなりたい。このイベントを通して、日本とアフリカ、アジアの関わりが、さらに強くなることを願っています。

主 催

SEISA Africa Asia Bridge 実行委員会・横浜市国際局

後 援

外務省・文部科学省・神奈川県・小田原市・大磯町・箱根町・神奈川県教育委員会・横浜市教育委員会
小田原市教育委員会・大磯町教育委員会・JICA横浜・ヨコハマSDGsデザインセンター
公益財団法人世界子ども財団・一般社団法人星槎グループ・学校法人星槎・学校法人国際学園・日本共生科学会

協 力

学校法人 星槎子ども園 KIDS planet・社会福祉法人 星槎・星槎学園・JICA北海道

こどもたちが “未来を自分で考える”ために SAABをやるんだ 種まきなんだよ

SAABとは

2015年から始まったSEISA Africa Asia Bridge(以下SAAB)は2025年で第11回目を迎えます。

星槎グループ創設者である宮澤保夫名誉会長の「これから
のこどもたちの未来のために、アフリカとアジアに“橋＝
Bridge”をかけなければならない」という想いからSAABは
誕生しました。

今やアフリカは、多くの天然資源を有し、またICT開発の
拠点として、多くの人々が注目する世界の中心ともいえる
大陸へと変化しています。この変化に対して、10年先、20年
先の世界のあり方を考える上で、とても大切な時間にさし
かかっています。SAABは、こどもたちがアフリカの国々につ
いて「知る」「繋がる」という目標の実現を目指し、多くの
国の方々と共に、アフリカのもつ多様性の素晴らしさ、可能
性について語り合い、共感し合うイベントです。

近年、ICTの活用により、多くの国の方々と共に、多様性の

素晴らしさ、その可能性について深く考え、語り合う機会
にもなっています。私たち日本人が海外の人々とのよう
に関わり合い、繋がることのできるのか。また、さまざまな
国々が抱える多くの問題に対して、どのように行動する
ことのできるのかを探る機会にもしていきたいと考えて
います。星槎の考える本当に大切な学びは、「それぞれ
の違いを認め、排除せずに仲間になること。そして、共に
行動すること」に他なりません。この機会での経験が、次
の世代を担う日本と海外の若者たち自身が考え、行動する
種になることを願っています。

「こどもたちが未来を自分で考えるためにSAABをやるんだ！
種まきなんだよ！」

私たちは宮澤保夫名誉会長の想いを受け継ぎ、未来の
こどもたちへの「種まき」を行っていきます。

SAAB2025 スペシャルコンテンツ

Stage Event

11:00～
国連UNHCR
難民支援と私たちの
できること

3ch



知繋Projectでは、世界平和の実現に向けた「国連
UNHCR難民支援と私たちのできること」の講演から、
紛争の結果として起こる難民への救援活動などを理解
し、その解決に向けた取り組みを皆さんとともに考えて
いきます。(写真:国連UNHCR協会 天沼耕平様)

12:40～
African Music
Workshop

2ch



ジャンベとは、西アフリカの伝統的な打楽器で、素手で
叩き力加減や場所によって多様な音色を使い分けられる
のが特徴です。主に祭りや儀式で使われてきた歴史が
ありますが、現在では音楽ジャンルを問わず幅広く演奏
されています。

15:00～
Let's do
African dance!

1ch



本場のダンスを横浜で体感できる！ アフリカダンスの
プロによる迫力のダンス演技！ また、初心者も大歓迎
のアフリカダンスをみんなでできるワークショップまで！
みんなで楽しく学びを満喫しよう！

JICA海外協力隊60周年とSAAB

SEISA Africa Asia Bridge 実行委員長
(元JICAアフリカ担当理事) 松岡和久

今年は、1965年29名の青年がラオス・カンボジア・マレー
シア・フィリピン・ケニアに派遣されて60周年にあたります。
協力隊員の多くは、日本とは大きく異なる社会に飛び込み、
その伝統・文化・習慣に溶け込む努力を重ね、「現地の人々
との心のこもった信頼関係」を築いていきます。そして、
「この信頼関係を築くことができれば任務の80%は達成
したと言って差し支えない」と言っています。

私は、「人を認める」「人を排除しない」「仲間を作る」と
いう3つの約束を守ることは、この「協力隊の信頼関係の
構築」の根底を流れるものと共通するものがあると思って
います。

SAABの活動はこの3つの約束を守っている星槎の仲間
たちが、1年という月日をかけてアフリカやアジアのこと
について共に学び、共に考え、共に行動して、2030年
までに持続可能な開発目標(SDGs)の17の目標を達成
することによって、国際社会が目指している世界を理解
しようとするものです。

皆様におかれましては、このSAABの活動が宮澤保夫名誉
会長の教育理念を具現化したものであることをご理解し
ながら、様々な展示物や各種行事をご参観頂ければ幸い
です。

開催に寄せて

横浜市国際局
局長 山下朋美

SEISA Africa Asia Bridgeが第11回を迎えられたこと、
心よりお祝い申し上げます。2015年の初回以来、日本と
アフリカ・アジアの若者を結ぶ貴重な交流の場として継続
され、横浜市の重点的な施策であるグローバル人材の育成
に取り組みられてきたことに深い敬意と感謝を表します。

横浜で今年8月に開催された第9回アフリカ開発会議では、
本市の留学支援プログラムによって海外へ留学した若者
等が学生ボランティアとして、会議運営のサポートや国内外
から横浜を訪れる関係者を案内する等で活躍しました。
また、11月25・26日に開催される本市主催のアジヤスマート
シティ会議2025では、市内および海外大学の学生による
セッションを予定する等、様々な取組の中で次世代を担う
若者が世界とつながる機会を創出しています。さらに、
2027年にはGREEN×EXPO 2027の開催を控えています。
本市はこれまで以上にグローバル都市としての魅力の
向上を図り、市民や企業の皆様が世界をより身近に感じ、
世界とつながるきっかけを作ること、「市民の皆様が
世界に誇れるまち」の実現を目指してまいります。

SEISA Africa Asia Bridgeでの様々な学びを通じ、日本と
アフリカ・アジアの若者たちの相互理解がさらに深まり、
近い将来、世界の架け橋となることを願っております。

Guest



陸上 末續 慎吾選手

- ・2003パリ世界陸上200m 第3位(銅メダル)
- ・2008北京オリンピック
4×100mリレー 第2位(銀メダル)
- ・100m 10秒03
- ・200m 20秒03(日本記録)



野球 カスンバ・デニス選手

- ・2023年 アメリカ合衆国のMLBドラフト
リーグ(プロアマ野球リーグ)招待
「ベースボール・ユナイテッド」
(中東と南アジアのチームによる
リーグ)のオールスター参加
- ・2024年7月より 北海道ベースボールリーグ
「旭川Be:Stars」所属

熊本県出身。九州学院高等学校、東海大学を経て、
ミズノ株式会社に入社。社内留学で東海大学大学院
修了。2015年4月よりプロの陸上選手として独立。
2018年には自身の走ることに対する世界観を表現
した「EAGLERUN」を起ち上げ、選手活動とともに
後進の指導も行う。世界陸上4大会、オリンピック
3大会出場。スプリント種目で世界陸上・オリンピック
の両大会でメダルを獲得している日本唯一の存在。
男子200m日本記録保持者(20秒03)。

幼少期に過酷な環境に置かれたカスンバは、食肉
工場で働きながらも、ウガンダで出来る方法を考え
ながら、独学で野球を磨いた。SNSで発信した動画
が話題となり、MLBドラフトリーグに招かれたほか、
中東リーグ戦にも参加。2024年には多くの現役
メジャーリーガーからSNSでフォローを受け、日本
の旭川ビースターズ入りを果たし、さらなる成長を
目指している。

タイムスケジュール

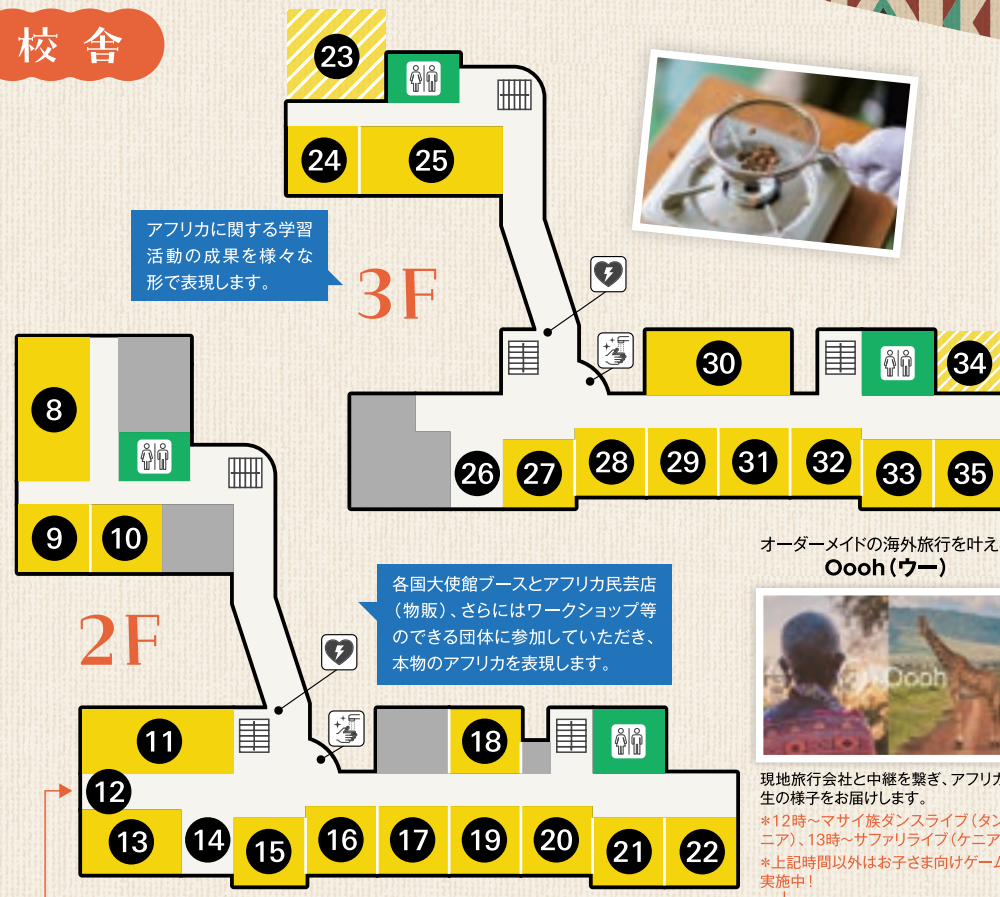
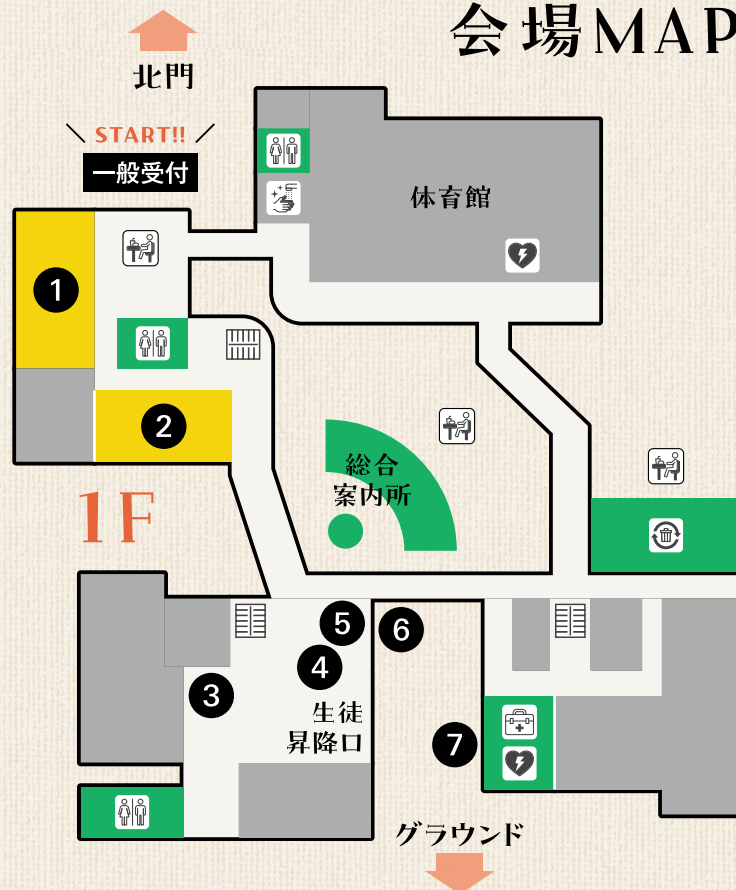
大使館PV・接続確認タイム

	SEISA KANAGAWA First venue ch SAABのメインチャンネル！ イベント会場である横浜会場の体育館 でスペシャルな企画を見てみよう！ 	SEISA KANAGAWA Second venue ch 横浜会場のグラウンドステージの 様子を見てみよう！ 	Know and connect project ch 星槎大学企画の「知繋」プロジェクト！ ディープラーニングの世界へ！ 	Nationwide ch 全国と繋がります！ たくさんの仲間を作ろう！！ 	
10:00	10:00～ オープニングセレモニー	①アフリカン神輿出御 ②開催宣言 ③来賓挨拶 (UNOSAA (国際連合アフリカ担当事務総長特別 ④来賓紹介 ⑤オープニングスピーチ『これからの若者のアフリカとアジアの ⑥SAAB feature宣言 ⑦アフリカン神輿還御	顧問室)・UNDP (国連開発計画)・大使館・外務省) 関わり方・未来の作り方』立命館アジア太平洋大学卒業生		10:00
11:00	11:20～ SDGsプレゼンテーション 全国大会決勝ラウンド 『sTED～Final～』	11:20～ 講演・スポーツ企画中継 『メジャーリーガーから 注目される男 カスンバ・デニス』 登壇者:カスンバ・デニス選手	11:00～ 星槎大学 presents 『国連UNHCR 難民支援と私たちのできること』 講義:国連UNHCR協会 天沼耕平氏	11:00～ 星槎箱根キャンパス presents 『にほんごで地域を繋ぐ』	11:00
12:00			12:00～ 星槎大学 presents 『戦争と平和』 講義:佐々木伸教授	12:00～ 星槎全国親の会 presents 『もっともっともっと楽しい学校を！！ 親も子どもも先生も星槎に集い みんなで育む集合体！！』	12:00
13:00	13:00～ 全国生徒会presents 『Well-Being Project 2025』	12:40～ ジャンベ体験 & 演奏会 『African Music Workshop』 音楽家 松川かの子氏、大久保宙氏 演奏 セネガル共和国音楽家 ワガン・ンジャエ・ローズ氏 演奏	13:00～ 横浜市国際局 presents 『横浜とアフリカ』	13:00～ 星槎箱根キャンパス presents 『箱根町パートナーシップ』	13:00
14:00	14:00～ 星槎吹奏楽団 presents 『A Journey for Treasure』	13:40～ オリンピアン夢トーク 『夢の実現』 登壇者:末續慎吾選手	14:00～ 星槎大学 presents 『アフリカ民謡—Malaika (マライカ)』 パーカッションワークショップ パーカッションニスト:上原な江氏	14:00～ 星槎札幌もみじキャンパス presents 『日本列島アジアアフリカの旅！ みえない階段で日本を 回ってみよう！』	14:00
15:00	14:30～ SEISA presents 『全国調べ学習～ご当地SDGs～』	14:40～ 星槎全国生徒会 presents 『ポジティブグランプリP-1』			15:00
	15:00～ アフリカダンスワークショップ 『Let's do African dance!』 MAMI (アフリカ舎) 登壇	15:10～ SDGsプレゼンテーション『sTED ～Final～結果発表』			
	15:30～ グランドフィナーレ『Bridge Action ～SEISAだよ！全員集合！～』				
16:00	16:00～ 『SEISA Africa Asia Bridge実行委員長 メッセージ』星槎グループ 蓮田 亮大』				16:00
※『sTED～Open～』『全国調べ学習～ご当地SDGs～』『LINK』に関してはオンデマンドで別枠でHP公開					

会場MAP

校舎

- 手洗い場
Washing Area
- トイレ
Rest Room
- エコステーション
Eco Station
- 飲食スペース
Eating and Drinking Area
- 救護スペース
First-aid Station
- AED
Automated External Defibrillator



1F

- ① 日本ブース 展示
- ② • ゆたかカレッジY.Y.WORK (ゆたかカレッジ横浜キャンパス) 物販・体験
• マンゴーの子どもたち Tumaini Link(ぐんま国際アカデミー) 展示・物販
- ③ 海外研修発表 展示
- ④ アフリカアジア衣装体験 体験
- ⑤ 卒業生親の会わかば / 星槎中高保護者会 ペーパービーズワークショップ 体験
- ⑥ • Warm Hearts Coffee Club 物販
• 株式会社伊藤園 物販・体験
- ⑦ A Run Drone(アランドローン) 体験

2F

- ⑧ • BENIN MARKET LAWSON 物販
• African Lien 物販
• Wae Mode 物販
• Dhamally handmade 物販
- ⑨ 星槎高校生徒教室企画 展示
- ⑩ 星槎高校生徒教室企画 展示
- ⑪ くるり工房 ワークショップ
- ⑫ Go!Go!アフリカOooh(ウー)! LIVE中継・体験
- ⑬ sTED OPEN 学習発表
- ⑭ 星槎紹介・SAABの歴史ブース 展示
- ⑮ • YAYA BANSO 物販
• マデリーフ&カニールス 物販
• BISSAP 物販
• アフリキコ 物販

- ⑯ • 一村一品マーケット 物販
• Africafabra 物販
• モヨモヨアフリカ 物販
• ナラヤニ バンダル 物販
- ⑰ 大使館ブース 展示
- ⑱ 知繋プロジェクト 講演・体験
- ⑲ 大使館ブース 展示
- ⑳ 大使館ブース 展示
- ㉑ • 日本国連支援財団 展示
• IFAD日本連絡事務所 展示
• APU(立命館アジア太平洋大学) 展示・相談
• JICA横浜 展示・体験
- ㉒ • 公益社団法人日本ラクロス協会 展示
• ウガンダ野球・Kasumba Dennis / NEXT54 展示
• 横浜市国際局 展示

3F

- ㉓ さわらび喫茶 飲食
- ㉔ さわらびバザール 物販
- ㉕ LINK 演劇
- ㉖ おたすけ工房 展示・体験
- ㉗ 星槎高校生徒教室企画 展示
- ㉘ 星槎高校生徒教室企画 展示
- ㉙ 星槎高校生徒教室企画 展示
- ㊀ 星槎高校生徒教室企画 展示
- ㊁ 星槎中学生徒教室企画 展示
- ㊂ 星槎中学生徒教室企画 展示
- ㊃ 星槎中学生徒教室企画 展示
- ㊄ 星槎中学生徒教室企画 展示
- ㊅ 星槎中学生徒教室企画 展示

会場MAP

グラウンド



飲食ブース

- ① 星槎高校食品企画
- ② 星槎高校食品企画
- ③ わかばカレー
- ④ 星槎高校食品企画
- ⑤ 星槎高校食品企画
- ⑥ 星槎高校食品企画
- ⑦ 星槎高校食品企画
- ⑧ もったいない食堂

- ⑨ うみかぜファーム
- ⑩ cafe Le Havre
- ⑪ 楽しい農園
- ⑫ ストア
- ⑬ ナイルエジプト料理
- ⑭ SURAJキッチン
- ⑮ キッチンカー鳥ほたる
- ⑯ 高野商店
- ⑰ テンダーマン
- ⑱ ユートピア
- ⑲ キッチンカーMoana
- ⑳ Uncle Yves Restaurant Mobile

- ㉑ FOFO CATERING SERVICE
- ㉒ Rokks
- ㉓ es.tokyo
- ㉔ Mr.Chicken
- ㉕ MIKAバインミー
- ㉖ 燻製屋KEN
- ㉗ 姫路アーモンドバター専門店ボナペティ
- ㉘ HOSHINO CHURROS
- ㉙ u3doco
- ㉚ アフリカドーナッツ
- ㉛ ロイヤルベークス
- ㉜ FGCDドリンクブース



スポーツ企画

- 11:00~13:00 ラクロス体験
13:10~14:10 野球体験
14:20~15:00 クリケット体験



SAABのあゆみ

宮澤保夫名誉会長の
「これからの
こどもたちの未来のために、
アフリカとアジアに
“橋=Bridge”を
かけなければならない」
という想いから、
SAABは誕生しました。

これまでの経過

- 2015** ● 第1回 SEISA Africa Asia Bridge 開催
- 2019** ● SAAB Future宣言発表
UNDP (国連開発計画) 本部訪問
TICAD7 (第7回アフリカ開発会議) 参加
- 2020** ● SDGs達成を目指す先駆的な事業を対象とする
横浜市SDGs biz サポート助成金事業として認められる
- 2021** ● 文部科学省からユネスコ/日本ESD推薦事業として採択
(Education For Sustainable Development 持続可能な開発のための教育)
日本代表としてユネスコ(本部)へ推薦する事業として認められる
- 2022** ● ASPnet (Associated Schools Network) ユネスコスクール申請
※星槎中学校・星槎高等学校チャレンジ期間
- 2023** ● ASPnet (Associated Schools Network)
ユネスコスクール・キャンディデート承認
- 2024** ● 横浜市国際局共催
2025大阪・関西万博を契機とした地方公共団体による地域活性化に資するアフリカ地域との国際交流調査事業認定
外務省「TICAD9 (第9回アフリカ開発会議)」パートナー事業に認定
- 2025** ● ユネスコ提携学校ネットワーク (ASPnet) への加盟校として正式認定
2025大阪・関西万博を契機とした地方公共団体による地域活性化に資するアフリカ地域との国際交流調査事業継続

2015年 第1回 SEISA Africa Asia Bridge に寄せたメッセージ

アフリカ。この言葉は誰もが知っています。
しかし、私たちはアフリカのことを実際にどれだけ理解しているのでしょうか。単にアフリカといえばライオン、キリン、ゾウなどのイメージで思い描くことが多いのではないのでしょうか。今は日本人から見ればアフリカは物理的にも、精神的にも遠く、私たちの日常からは確かに離れているように思われます。



一方、大陸としてのアフリカは地球上の陸地全体の20%以上を占めています。また、人類発祥の地とも呼ばれています。さらに全土で話されている言葉の種類は3,000を超えています。これから10年、20年、30年の先を見れば、天然資源に乏しい日本にとってこの大陸は重要です。天然資源等の分野において日本を安定させうる唯一の国々といっても過言ではありません。日本の未来を担うこどもたちが、アフリカの国々について多くのことを学び、お互いを知り、交流を持つことがとても大切だと私たちは考えます。



距離的にアフリカが遠いのは確かですが、近い将来には日本からアフリカまで数時間で飛べる時代がやってくるかもしれません。例えば、東京から京都までの移動時間が江戸、明治、昭和、そして現在においてどのように変化してきたのかを考えれば、アフリカまで1~2時間で行くこともあながち夢物語ではないといえます。その距離が確実に縮まっていく中で、心の距離も近い日本であることが必要です。アジアの中でもアフリカを良く知っているのは私たちであり、アフリカと関わり、仲良くし、平和作り、国作りに関わっていく仲間としての日本人という、私たちのあり方が重要な意味を持つてくると考えます。

距離の遠さよりも心の近さを持つ若者たちが、日本においてもアフリカにおいてもより多く育っていつてくれるためにも、皆様のご理解ご協力をいただければ幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。

星槎グループ創設者 宮澤 保夫



テーマ「知繋(ちけい)」=「知ること、繋がること」を掲げ、アフリカ・アジアの各国とより深く繋がることやSDGs具現化・世界平和に向けて第10回目となるSEISA Africa Asia Bridge 2024を開催いたしました。天候にも恵まれ対面開催とオンライン開催での4チャンネル配信で実施いたしました。今年度は横浜市国際局と共催となり、2025 大阪・関西万博を契機とした地方公共団体による地域活性化に資するアフリカ地域との国際交流調査事業・外務省「TICAD9」パートナー事業に認定いただいての開催となりました。またアフリカ・アジアの国々を対象に、ご協力いただいた大使館が18ヵ国、日本、UNOSAA(国連アフリカ担当事務総長特別顧問室)、UNDP(国連開発計画)、アイルランドにあるゴリーコミュニティスクールの校長・生徒を合わせると37カ国以上、総参加人数8,633名の皆様と共に、学びと関わり合いの輪を広げることができました。オープニングセレモニーではUNOSAA政策・モニタリング・アドボカシー ジャン ボール アダム課長、UNDP アフリカ・ヤング・ウーマン・リーダーシップ・フェロー アリージェ バルダ様、外務大臣政務官穂坂 泰様、エリトリア国特命全権大使エスティファノス アファワキ ハイレ閣下・日本

アフリカ友好議員連盟会長で衆議院議員逢沢 一郎様・衆議院議員古川 直季様からメッセージをいただきました。第10回大会では、生徒・各国大使館・横浜市国際局とStudentサミットを開き、若い世代の子どもたちと国籍・年齢・性別を越え、10年間に渡り学んできたアフリカ・アジア諸国に関する知識やSDGsの達成に向けた取り組み・今後の願いについて意見を出し合うことができました。SAABはこれからもアフリカ・アジアとのかけ橋になること・若い世代の子どもたちの交流の場になること・SDGs17の具現化に向けて一層力を入れ取り組んでいき、日本を代表するESD(持続可能な開発のための教育)を実践する国際交流フェスティバルを目指します。最後に星槎グループ創設者宮澤保夫が「SEISA Africa Asia Bridge=かけ橋」と名づけたこのフェスティバルが、アフリカ・アジアだけではなく世界平和の実現に一層近づけられるフェスティバルだと確信いたしました。今後私たちが大切にしている「共生」の理念を様々な形で表現し、多くの皆様方と共にSEISA Africa Asia Bridgeを充実・発展させていきたいと考えております。

▼これまでの様子



来場者数

	当日(オンライン含む)		合 計
2024年	8,633名		8,633名
2023年	7,463名		7,463名
2022年	日本約25,000名+世界約15,000名*		約40,000名
2021年	日本約27,000名+世界約10,000名*		約37,000名
2020年	日本約20,000名+ミャンマー約35,000名*		約55,000名
	第1日目	第2日目	
2019年	3,465名	4,273名	7,738名
2018年	3,014名	3,997名	7,011名
2017年	3,604名	3,643名	7,247名
2016年	2,600名	3,200名	5,800名
2015年	4,000名		4,000名

*…オンライン開催をメインに実施

参加国数

	大使館関係	その他(日本含)	合 計
2024年	18カ国	19カ国	37カ国
2023年	19カ国	12カ国	31カ国
2022年	15カ国	17カ国*	32カ国
2021年	16カ国	23カ国*	39カ国
2020年	6カ国	24カ国*	30カ国
2019年	17カ国	15カ国	32カ国
2018年	16カ国	20カ国	36カ国
2017年	21カ国	14カ国	35カ国
2016年	13カ国	17カ国	30カ国
2015年	9カ国	8カ国	17カ国

*…オンライン含む

参加大使館

会場来校

エリトリア国 / コートジボワール共和国 / コンゴ共和国
タンザニア連合共和国 / モーリタニア・イスラム共和国
リベリア共和国 / コンゴ民主共和国 / スーダン共和国
南スーダン共和国 / ウガンダ共和国 / ジブチ共和国
ジンバブエ共和国 / トーゴ共和国 / マリ共和国 / 南アフリカ共和国
マラウイ共和国 / レソト王国 / ブルキナファソ

参加国・地域

参加された方の国、地域
(来場およびオンライン参加)

アメリカ合衆国 / ニュージーランド / ブータン王国
中華人民共和国 / バングラデシュ人民共和国 / 日本 / 大韓民国
タイ王国 / ロシア連邦 / フィリピン共和国 / ウクライナ
セネガル共和国 / ベナン共和国 / アイルランド / 北朝鮮
スリランカ民主社会主義共和国 / インドネシア共和国
ネパール / ガーナ共和国

特別協力

・国連アフリカ担当事務総長特別顧問室(UNOSAA) ・国連開発計画(UNDP) ・外務省
・日本アフリカ友好議員連盟 ・日本アフリカ友好横浜市民議員連盟 ・株式会社崎陽軒

後 援

・外務省 ・文部科学省 ・神奈川県 ・小田原市 ・箱根町 ・大磯町 ・神奈川県教育委員会 ・横浜市教育委員会
・小田原市教育委員会 ・大磯町教育委員会 ・JICA 横浜 ・JICA 北海道 ・ヨコハマ SDGs デザインセンター
・公益財団法人世界こども財団 ・一般社団法人星槎グループ ・学校法人星槎 ・学校法人国際学園
・日本共生科学会

主 催

・SEISA Africa Asia Bridge 実行委員会 ・横浜市国際局

協 力

・学校法人 星槎こども園 KIDS planet ・社会福祉法人 星槎 ・星槎学園

SAABコンテンツ & SAABに向けた取り組み

sTED (Seisa Transnational Education Design : 通称sTED)

全国の星槎の中高生、近隣の小中高生が一堂に会し、アフリカやアジアとの繋がりを国連のSDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) をテーマに、10年先、20年先、50年先の未来について考え、プレゼンテーションする、sTEDを開催。1年間の研究の成果をもとに生徒たちが仲間と協同して、主体的な学びのアウトプットを行います。



「星槎全国生徒会・同窓会」とSAAB

星槎全国生徒会・同窓会では、共生社会の実現を目指し、校内外の課題に目を向け、2025年度は“Well-being”を合言葉に活動を行っています。SAABでは一人でも多くの人が様々な視点の「ありがとう」を大切に、仲間と一緒に共感・提案・実践をしています。SAABや全国生徒会での活動をきっかけに、自校舎だけではなく発表や学びの機会を通して、一人ひとりが役割と責任を持ち、自身や自校舎の活動において新たな道を切り開く力を高めています。SAABではこれまで、世界のエネルギーに関すること、SDGsに関すること、よりよい社会を目指していくために今できることなど、様々なテーマに取り組んできました。全国生徒会での活動を通して強い信念を持つ

生徒、卒業生がいることは、大きな成果であると捉えています。



2025年ユネスコスクール正式認定

星槎高等学校・星槎中学校は、長年にわたるSDGs (持続可能な開発目標) やESD (持続可能な開発のための教育) への取り組みが評価され、2025年2月、ユネスコ本部より正式にユネスコスクールとして認定されました。本校の国際交流プログラム「SEISA Africa Asia Bridge」は、2021年に「ユネスコスクール／日本ESD賞」国内推薦事業に選定され、世界とのつながりを深めながら、持続可能な社会づくりに向けた教育活動を推進してきました。今回の正式認定を機に、星槎グループ全体で、これまで以上にSDGsの実現とESDの実践に力を注ぎ、未来を担う生徒一人ひとりが「共生」社会を創る力を育んでいきます。



SAAB 一斉授業

全国にある星槎の校舎をオンラインで繋ぎ、SAABに向けて共に学び、知って繋がるための「SAAB 一斉授業」を行っています。各校舎で「アフリカ」「アジア」などに関わるテーマ(歴史、衣食住、文化、風土、気候、宗教、地理、産業等)について調べ学習し、SAAB当日はステージ上やオンデマンド放送等でプレゼンテーション発表を行います。また、事前に動画の編集方法、プレゼンテーションの仕方を学んでいます。当日の発表にご期待ください。



国内最大規模の国際会議 TICAD9 (第9回アフリカ開発会議) 報告

アフリカ・アジア連携の未来へ

2025年8月20日(水)～22日(金)、横浜で開催されたTICAD9では、アフリカ諸国との教育・文化・経済分野での協働が議論されました。星槎高等学校の金子校長は、会議後の総理・横浜市長レセプションに招待され、今後のSAABへの協力も依頼していただきました。また、今回のTICAD9担当大使の丸山則夫氏は、これまでSAABを通じて星槎の「共に育つ」理念に理解を示してくださっています。今回の交流は、星槎の国際的な歩みをあらためて確認する機会となりました。



第10回ニューヨーク海外研修 国際連合訪問

2025年10月24日、第10回ニューヨーク海外研修の一環として、星槎グループの生徒60名が国際連合アフリカ担当事務総長特別顧問室(UNOSAA)を訪問しました。この日は、国際連合創設80周年の記念日という特別な日でもあり、生徒たちは約1時間30分にわたり、日々のSDGs学習の成果を発表しました。テーマは、「アフリカの水問題と教育について」「日本の伝統文化・歌舞伎の衣装づくり活動」の2つです。生徒たちは、自らの調査と活動をもとに、アフリカの課題に対するアクションプランを提案し、UNOSAAの担当者から貴重な助言をいただきました。今後は、この経験とアドバイスを生かし、世界各地との

パートナーシップの強化や若い世代の国際交流をさらに発展させていきます。この訪問を通じて、私たちは国際平和の維持と国際理解の促進の大切さを改めて実感し、未来を担う若者としてグローバル社会に貢献する責任と行動の重要性を学びました。

